

誠愛 TIMES

広報誌
平成21年 5号
医療法人社団 三光会
誠愛リハビリテーション病院



- ◆平成21年4月 院長御挨拶
- ◆平成21年4月 新入職員代表あいさつ
- ◆介護保険をご存知ですか？
- ◆リハビリテーション部 臨床実習始まる!!!
- ◆旬の野菜を食べよう!

〒816-0956 福岡県大野城市南大利2丁目7番2号 電話：092-595-1151

メールアドレス：info@seiai-riha.com URL：<http://www.seiai-riha.com>

平成21年4月 院長御挨拶

昨春4月7日から当院に赴任いたしましたので、丁度丸1年が経ちました。今年は福岡では桜の開花が早く、その後満開になっても散るのが遅かったこともあり、例年より長く綺麗な花を愛でることができとても得した気分です。新規に入社される新人の方々、本当におめでとうございます、どうか早く新しい職場に慣れて誠愛リハビリテーション病院と患者さん方のために頑張ってください。

春は、人生80数年に例えれば正に20歳過ぎといったところ、新人の皆さんには自分のことを振り返っても、この先沢山の楽しいことが待っていますし、何でも出来そうな気がしているのではないかと思います。処が、気がつく知らぬ間に光陰矢の如く時は経って行きますので、若いうちから何か大きな目標と夢を心に抱き、日々着実な努力を続け乍ら、毎日を大切に悔いなき青春、朱夏、白秋、玄冬へとご自身が主人公のつもりで、一度しかない大切な人生の時を刻んで行って戴きたいと思っています。

ホームページの4月号にも同様の内容を掲載致しましたが、我が家の10歳になる雑種犬は目が見えません：6歳の頃に原因不明の緑内障を患い、最高の治療を施すも眼内炎（血管炎）が進行し硝子体出血を繰り返した挙げ句に、最終的には両眼球とも萎縮失明しました。そんな彼女が4月1日の朝方5時前に、珍しく申し訳なきように微かに数回吠えたのです。ヒトですともう70歳を超えておりますし、眠い眼をこすり乍ら階下に降りて行くと、エサをやっても食べませんし、玄開口に落ち着かない様子で座り立ちし、どうやら外に出たがっている様子です。お腹もグルグル鳴っているので、やっぱりトイレかも知れないと思い直し、未だ真っ暗な中を散歩に出掛けました。どうやら体調が悪かったらしく、すぐに消化に良いのでしょうか、名前も知りませんがある雑草の葉っぱを選んで食べ出しました。そしていつも通り近くの海岸で用を足して、普段通りすっかり元気な状態に戻りました。ヒトと違って犬ですので言葉は話せないわけですが、我々より余程、謙虚で遠慮がちな訴えや立ち居振る舞いに何時もながら感心してしまいました。普段、失語や半身麻痺・感覚障害などで高次脳機能や身体の不自由な患者さんのリハビリのお手伝いをしている当病院ではありますが、気遣いや心配り（すなわち心配り）という面で細かい配慮に欠けてはいないのか急に心配になりました。患者さんやご家族の方々には、さぞや色々ご不満などもおありなのではないかと、愛犬との早朝散歩をし乍ら改めて考えさせられる良い機会でした。さらに私にとっては、久々に優しい気持ちになれる清々しい朝であったと同時に、いつもは批判的な家内や子供たちからも、「お父さん、今日は優しくったね、エライね」と、一寸複雑なお褒めの言葉。

病院正面玄関に登る坂道の途中にある枝垂れ桜が満開の中、ヒトや生き物に対して常に優しい気持ちを忘れないよう、新年度も職員一同シッカリと力を合わせて頑張ってお参りたく存じます。患者さんやご家族の皆様も、どうぞご自愛のうえ、宜敷くご指導賜りますようお願い申し上げます。
(平成21年4月2日記)

平成21年4月新入社員代表あいさつ

こんにちは。私は4月から福祉課で相談員として勤務することになりました、片井ちあきと申します。新入社員の代表として、ご挨拶させていただく機会を頂き、とても嬉しく思います。今年は、福祉課に2名、薬局に1名、検査に1名、介護老人保健施設カトレアに1名、メディカルフィットネスに1名、居宅介護支援事業所カトレアに1名、計7名が入社いたしました。それぞれが社会人としての自覚をもって、仕事に励んでおります。

私にとって、病院で働くことには強い思いがありました。高校生の頃、1ヶ月ほど入院していた経験があり、その当時とても不安な日々を過ごしていました。しかし、主治医の先生をはじめ、看護師、相談員の方に支えていただき、その出会いがあったからこそ、入院生活を乗り越えていけたのだと思います。その出会いが、病院のソーシャルワーカーを目指すきっかけになり、今の自分の姿にもつながったと感じています。

これから社会人としての新しい生活には、楽しみと同時に不安もあります。ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが。周りの方への感謝の気持ちを忘れずに、1日でも早く先輩方に追いつけるよう、また、患者さんの立場に立ち、少しでもお役に立てる相談員になれるように努力していきたいと思っております。

まだまだ未熟ですが、どうぞよろしくお願い致します。

新入社員代表 片井 ちあき



介護保険をご存知ですか？

こちらには、管理部福祉課です。
これから数回に分けて介護保険についてお話していきます。

第1回 介護保険サービスって何？

介護保険という言葉も、一度は耳にされたことがあると思います。
年齢を重ねて日常生活に介護（誰かの手助け）が必要になったときに、自宅で生活しながら介護のサービスが受けられるというものです。例えば、足腰が弱くなってしまったとき、トイレや浴室に手すりをつけて安全に使用できるようにします。一人で入浴するのが不安な場合は、自宅にヘルパーさんに来てもらって手伝ってもらうこともできます。街でよく見かける「〇〇デイサービスセンター」という車。昼間を施設で過ごす利用者を自宅まで送迎しています。これも介護保険のサービスのひとつです。介護が必要になっても、今の生活を少しでも長く続けられるように、また家族の介護に関する負担を減らすことを目的に作られた制度です。

介護保険は高齢者だけのものと思いませんか？

65歳以上の人は、その原因に拘らず、介護が必要になれば申請をして認定を受けることでサービスを利用できます。また40歳以上の人も脳梗塞や脳出血、パーキンソン病、関節リウマチなどあらかじめ決められた病気（特定疾病といいます）で介護が必要になったときは申請することができます。

＝申請の方法＝

1. 申請
お住まいの市区町村の介護保険窓口申請をします。65歳以上の人は介護保険証を持って行ってください。
2. 市区町村が行なう手続き
主治医意見書： かかりつけの医師に介護を必要とする原因の疾患などについて記載を依頼します。
訪問調査： 心身の状態を確認するため、本人・家族へ聞き取り調査が行われます。
判定： まずコンピュータによる1次判定が行われ、次に2次判定で保険、医療、福祉の専門家が集まり審査をします。
3. 通知
申請から約1ヵ月後に、自宅に認定結果が通知されます。
結果は、介護の軽い方から要支援1・2、要介護1・2・3・4・5の7段階に分かれます。介護保険の対象とならない場合には非該当となります。
4. サービス利用開始
要支援、要介護の認定が出れば、介護サービスの利用が可能です。

次回はサービスの利用について、ご説明します。

リハビリテーション部 臨床実習始まる!!!

平成21年5月11日（月）より、リハビリテーション部では将来のセラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）を目指す学生たちの臨床実習が開始されます。

今回は、セラピストになるまでの道のりを実習を中心に簡単にご説明します。

まず、セラピストになる為には、リハビリ専門の養成校（専門学校・大学の専門学部）に入学し、3～4年間、専門的な知識や技術を身につける必要があります。この養成校のカリキュラムの中に、今回のような実際の臨床現場で行う実習が含まれています。実習の形態は、見学実習・評価実習・長期臨床実習など様々で、学生はこれらの実習を数箇所の病院・施設で履修します。

当リハビリテーション部では、卒前教育の一環として毎年多くの実習生を受け入れており、今年も30名程度の学生が実習に訪れる予定です。当院で行なわれる実習は、ほとんどが長期臨床実習で、多くは最終学年で行われる実習です。期間は学校によって異なりますが、6週間から11週間程度で、学生たちは当院を含め、2、3程度の病院・施設で実習を行う必要があります。

内容は、実際に患者さんを担当し検査や訓練を実施していきます。学生に対しては、経験のあるセラピストが指導者（バイザー）として指導を行います。学生は、この実習を通して医療人としての、あるいはセラピストとしての、さまざま経験や知識・技術を習得していきます。同様、指導者も学生とともに成長することができます。

さて、この実習が終了すると、学生はそれぞれの養成校に戻り、卒業論文や卒業試験を行い、その後、セラピストになる為の最終関門である国家試験に向けてさらに勉強しなければなりません。そして、国家試験に見事合格すれば、晴れてセラピストとして働くことができるようになります。

このように、当院で実習にくる学生たちは、来年にはセラピストとして活躍することを目指しており、多くのことを吸収しようと日々努力しています。

これから、実習生が担当させていただいたり、見学させていただく患者さん・ご家族の皆様方には、ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、どうぞご協力を宜しくお願いいたします。

豆知識

現在、日本には、理学療法科246校、作業療法科185校、言語聴覚科63校の養成校があります。



旬の野菜を食べよう！

いよいよ春です！たけのこ、たらの芽、菜の花・・・ほろ苦さが特徴の野菜がおいしくなる季節です。春野菜の持つ独特の苦味には、体内から不要なものを追い出す成分が含まれていて、これが内臓の調整役してくれるのだとか。

旬の野菜のチカラを借りて、冬に溜め込んだ不要なものをすっきりさせ、いきいき元気に春を満喫しましょう！



食べ方のポイント♪



えぐみが出るので、すぐに茹でてアク抜きを。ただし、水煮たけのこの切り口にみられる白い粉はアミノ酸のチロシン。洗い流さずに食べよう。



サヤから出すと次第に味がおちていくので、使う直前にサヤから出す。旬の時期は栄養価が高く味わいも格別。炒め物やスープでたっぷり摂ろう。



辛味と香りを持ち涙の原因となる硫化アリルは、体にうれしい栄養成分。加熱すると甘くなり成分が変化するため、生で食べるのがおすすめ。



茹でるときは、まず根元の硬い部分だけを湯に立たせて約10秒。その後全体を入れる。茹ですぎると豊富なビタミンCが流れてしまうので注意。



豊富に含んでいるカロテンは、油脂と一緒に摂ると吸収率が高まるので、炒め物、天ぷらなどにもおすすめ。下茹では塩少々を加えた熱湯で手早く。



約10粒で1日に必要なビタミンCが摂れるといわれているが、ヘタを取ってから洗うとビタミンCが流れてしまうので、つけたまま洗うこと。

患者さんの権利宣言

当院はつぎに掲げる患者さんの権利を尊重した医療を行います

- 安全で良心的な一貫した医療を受ける権利
- 個人の尊厳とプライバシーを守る権利
- 自らのことを知り、説明を受ける権利
- また苦情を申し立てる権利
- 医療機関或いは医療行為を選択・決定し、或いは拒否する権利
- 患者さんの日常生活に配慮した医療を受ける権利

医療法人社団三光会
誠愛リハビリテーション病院